

令和7年度 草津市の事務事業における地球温暖化対策取組状況

〇二酸化炭素（CO₂）排出量の状況

草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、エネルギー起源のCO₂排出量について、平成25（2013）年度を基準とし、令和12（2030）年度に、50%以上削減することを目標としています。

令和7年度は基準年度と比較してCO₂排出量を約13%削減することができました。

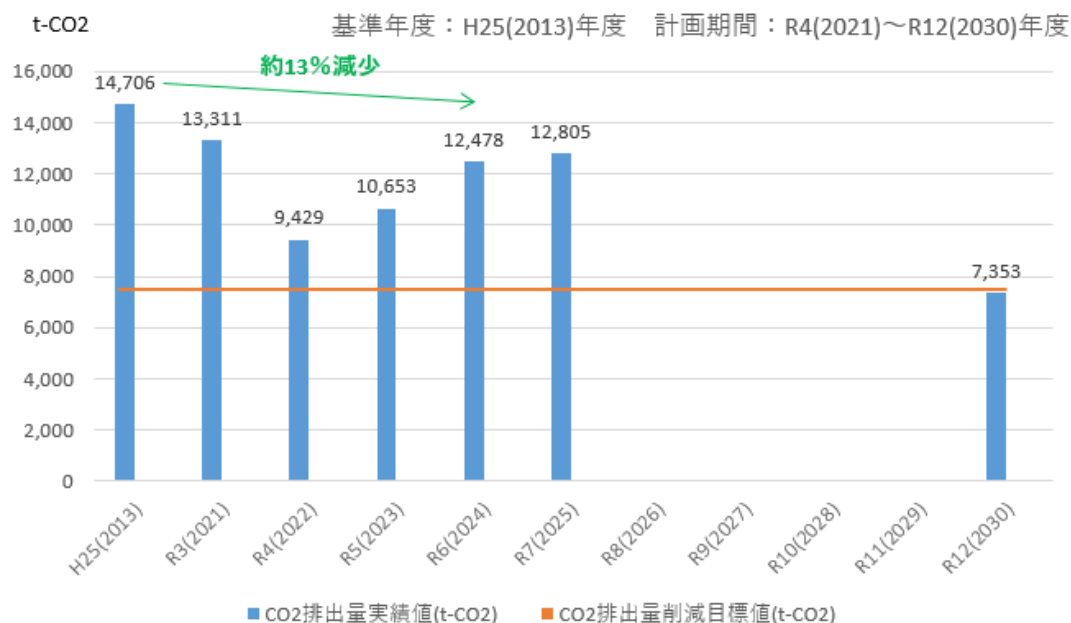


図 草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 目標年度までのCO₂排出量推移
※R3年度より集計開始

CO₂排出量のうち、最も大きな排出源となっているエネルギーの種類は電気と都市ガスであり、全体の95%を占めています。電気は、主に各施設の照明・空調等に使用されており、都市ガスは、主に庁内や小中学校、まちづくりセンター等で冷暖房の一部や給湯器、調理室で使用されています。

エネルギーの種類			CO2の排出量 (t-CO ₂)		R7構成比
			R7	R6	
エネルギー起源CO ₂			12,805	12,478	100%
施設	電気		8,853	8,814	69%
	都市ガス		3,325	3,041	26%
	LPガス		122	108	1%
	灯油		354	365	3%
	軽油・BDF		16	16	0%
	ガソリン		11	11	0%
	重油		4	6	0%
	電気	公用車	0	0	0%
	都市ガス	公用車	0	0	0%
	軽油・BDF	公用車	12	11	0%
	ガソリン	公用車	108	106	1%

←計 95%

〇C O₂排出量削減に向けた具体的な取組状況

草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、C O₂排出量削減に向けて効果的な4つの取組項目を設定しています。取組項目ごとの令和7年度の状況は、下記のとおりです。

＜取組1＞施設の省エネ化の推進

- ・ 公共施設へのLED照明導入（170施設）

＜取組2＞再生可能エネルギー等の利活用

- ・ ごみ発電電力の利活用
- ・ ごみ発電余剰電力による浄水場への自己託送
- ・ 太陽光発電導入のための積載荷重等確認（地域まちづくりセンター（9施設））

＜取組3＞公用車による負荷の軽減

- ・ 電動車整備（ハイブリッド車16台、電気自動車12台）

＜取組4＞事業活動における脱炭素対策の推進

- ・ KEMSによるエコオフィス行動の推進

No.	重点取組項目
1	資料等の印刷・コピーについては、両面印刷や画面集約を活用し、紙の使用量について削減する。
2	コピー機を使わない時は消す、電気をこまめに消すなど、短い時間であっても電気の使用を削減する。
3	物品の購入にあたっては、詰め替え・注ぎ足し可能な製品を想定する。